

第41回令和6年度沖縄県青少年赤十字大会 開催



県赤十字有功会仲村義明会長からの記念品贈呈

10月25日に、沖縄県総合福祉センターにおいて第41回令和6年度青少年赤十字大会が開催され、関係者約170名が参加しました。

大会では青少年赤十字活動に取り組んでいる個人及び学校等の表彰が行われ、個人14名、指導者2名、学校6校が受賞いたしました。

沖縄県赤十字有功会の仲村義明会長から青少年赤十字のメンバーへ記念品（救急セット）が贈呈されました。

令和6年度 日赤紺綬・有功会会長協議会総会 開催

11月6日に岩手県にて「令和6年度 日赤紺綬・有功会会長協議会総会」が開催され、沖縄県赤十字有功会 仲村義明会長が参加しました。

総会では決算等の報告、各県有功会の活動事例紹介があり、総会後は岩手県出身の芥川賞作家 若竹千佐子氏による講演会や懇親会が開催されました。



左から仲村義明有功会会長、上間司事務局長

沖縄銀行スマートフォンアプリ「おきぎん Smart」にて 赤十字への寄付ができるようになりました！

この度、沖縄銀行スマートフォンアプリ「おきぎん Smart」内の募金サービスにて日本赤十字社沖縄県支部への寄付受付を開始いたしました。

こちらの募金サービスでは、主に赤十字の青少年育成活動（JRC）へのご支援を呼びかけております。

赤十字では子ども達が互いに思いやり、地域社会や世界の人びとの平和や福祉に貢献できるような青少年育成活動に取り組んでいます。

青少年赤十字の態度目標「気づき・考え・実行する」を実践するために、子ども達が自分の周りの人や物事がどのようになっているかを実際に体験し、見聞きすることを通して、自分では何をすることができるかを考えていきます。

私たち沖縄県支部では、子どもたちの学びの機会を増やし、優しい心を育む活動をより一層充実させていきたいと考えております。是非皆さまからのお力添えをお願いいたします。



おきぎん Smart

日本赤十字社沖縄支部

(郡県/子ども)



優しい心であふれる未来 その想いを赤十字へ！

募金する

赤十字の防災教育



近年頻発する大規模地震や大雨災害などから人々の命を守るためには、災害が起きる前に自分自身の身を守る「自助」と地域コミュニティにおける「共助」の力を高めることが極めて重要となっています。

日本赤十字社沖縄県支部では、「いざ」という時の備えのための「赤十字防災セミナー」に力を入れています。令和6年度は4～9月末までに開催回数33回、のべ約1,490名の皆さまに受講いただいています！

ひなんじょたいけん（避難所運営ゲーム）

避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が作成したHUG（避難所運営ゲーム）を基に、日本赤十字社が許諾を受けて作成しました。専用のカード等を用いてグループワークを行います。

避難者の年齢、性別、国籍などそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験していきます。



令和6年5月30日、豊見城市役所の職員を対象「ひなんじょたいけん」を行いました。

KAG（家具安全対策ゲーム）

自宅の部屋などの平面図などを作成し、大地震が起きた時に潜む危険な箇所を探すことで、家具のキケンなどに目を向けてもらい、自分の身を守る「自助」についての意識向上につなげるプログラムです。

家庭だけでなく、事業所内においても利用者や従業員等の安全対策について考え、そして「気づき」がまった平面図（ワークシート）を参加者に持ち帰っていただくことで、生活スペースでの防災・減災への行動につなげていきます。



令和6年10月6日、社会福祉法人の介護職員向けにKAG(家具安全対策ゲーム)を行いました。

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！

災害時の危険（場所・行動）について伝え、自分の身を守るための基礎的な知識や判断力を身に付けてもらうため、4歳以上の子どもたちが学べるように赤十字が作成した教材です。

身近な学校、町の様子が描かれたイラストの中から、子どもたち自身で、危険な場所を探していきます。「この人あぶないよ！」「ぼくだったらこうするよ！」といった活発な意見が飛び交います。



令和6年9月12日、中原小学校にて2年生向けに防災教室を実施しました。

日本赤十字社沖縄県支部では、防災教育事業のほかにも「人間の命と健康、尊厳」を守るための活動に日々取り組んでいます。皆様からのご協力・ご支援を何卒お願いいたします。